

JASMA 会報

2013年11月発行（季刊）一般社団法人日本縫製機械工業会

CONTENTS

JIAM2016開催時期決まる	1
展示会でJASMA事業をPR	1
三地区連絡会議開催される	2
日中知的財産保護対策の事務局意見交換を実施	3
正副会長会議及び第138回理事会開催	4
第34回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールについて	4

JIAM2016開催時期決まる

次回のJIAMは、2016年の4月に大阪で開催することが決まりました。

基本方針は世界の縫製産業、服飾及び繊維加工全般の最先端技術と新製品（ハード及びソフト）の発表の場で、世界市場を対象に、商取引だけでなく国際見本市として日本独自の方向性を持ち、縫製機器分野に加え、関連業界との連携・融合による展示拡大を図ることとしています。現在、JIAM2016実行委員会を中心に取り組み方を検討していますので、詳細が決まり次第、本会報で紹介してまいります。

どうぞご期待下さい。

JIAM
2016 OSAKA

2016年4月開催！

展示会でJASMA事業をPR

当工業会は、内外関係団体が主催する展示会でJASMAブースを出展し、ポスター掲示、パンフレットを配付するなどJASMA事業のPR活動を行いました。

平成25年9月19日（木）、20日（金）に東京ビッグサイトで開催された「第51回東京ファッション産業機器展（FISMA TOKYO）」で、JASMAブース（1小間）を出展して、パネル、ポスター等を掲示し、2016年4月に大阪で開催するJIAM2016及びホームソーイング小・中・高校生作品コンクール事業、ミシンの日事業のPR活動を実施しました。



(FISMA TOKYO JASMAブース)

更に、9月25日（水）から28日（土）まで、中国・

上海新国際博覧中心で開催された「中国国際縫製設備展覧会（CISMA2013）」に出展し、JASMAブース（1小間）でポスター掲示、パンフレットの配付等により、JIAM2016のPR活動を実施しました。

両展示会は縫製機械及び関係業界の多くの来場者が訪れ、JASMA事業を効果的にPRすることができました。



〈CISMA2013 JASMAブース〉



〈CISMA2013 会場〉



〈CISMA2013 会場〉



〈CISMA2013 レセプション〉

三地区連絡会議開催される

平成25年9月25日(水)16時30分より、中国・Shanghai Pudong Kerry CenterでCSMA(中国)、JASMA(日本)、VDMA(ドイツ)、SPESA(米国)の縫製機械業界による三地区連絡会議が開催され、4団体代表の挨拶及び各地域の経済状況、展示会等について意見交換が行われました。最初にCSMA・何理事長から歓迎の挨拶後、CSMA事務局より、2013年第1及び第2四半期の経済状況は市場全体が成長を続け、CISMA2013は例年通り多くの来場者が訪れていると説明がありました。JASMAからは中村会長が6月に会長に就任したこと、次回JIAMは2016年4月に大阪で開催する旨挨拶しました。続いて近藤副会

長(JIAM2016実行委員長)から、JIAM2016は最先端技術と新製品の発表の場としており、関連業界との連携、融合により展示規模の拡大を図りたいので、多数の出展と来場をお願いしたいと挨拶しました。その後、湯原業務執行理事から日本の景気は、金融緩和、財政政策、成長戦略により緩やかに回復している旨説明しました。

その後、VDMAのVeit氏から今年のドイツ企業のミシン需要は微増傾向である旨説明があり、引き続き、SPESAのGardner専務理事から、今年の繊維等の国内需要は順調に推移していると説明がありました。

最後にCSMAの何理事長の質問に対して、安井副会長

よりCISMA2013会場を見て中国企業の技術力が向上していること、来場者が多いことからCSMA会員が元気であることを感じたことと挨拶しました。

出席者は、JASMAは中村会長、安井副会長、清水副会長、近藤副会長、廣瀬副会長、湯原業務執行理事他8名、CSMAは何理事長他16名、VDMAはStraub専務理事他13名、SPESAはGardner専務理事他4名でした。



日中知的財産保護対策の事務局意見交換を実施

当工業会は、「知的財産権保護対策」を重要な事業として取り組んでおり、特に主要市場の中国での知的財産権保護対策については、ジェトロ（日本貿易振興機構）との連携、CSMA（中国）との意見交換の実施、中国展示会での対応等を行っています。

先の9月28日（土）、中国・上海で日中知的財産保護対策の事務局意見交換を開催し、JASMAからCISMA2013での日本製品の模倣品展示状況について説明するとともに、日本企業からの苦情申し立てに対する主催者の対応等について説明しました。

CSMAからは、知的財産保護は中国の経済発展に必要であり、国、協会で取り組みを強化するとともに、協会の広報誌に知的財産保護に関する記事を掲載し注意喚起をしており、中国のトップメーカーも知的財産保護に対する意識は高く、自社製品の模倣品に悩んでいると説明

がありました。

出席者は、当工業会から湯原業務執行理事他1名、CSMAからは林副理事長他2名で、オブザーバーとして、経済産業省製造産業局産業機械課の服部嘉博担当官が臨席されました。



〈JASMA,CSMAの意見交換〉

正副会長会議及び第138回理事会開催

平成25年10月10日(木)、12時よりホテルグランヴィア大阪において、正副会長7名と業務執行理事による正副会長会議を開催し、第138回理事会の審議・報告事項を事前に検討しました。

その後、14時より第138回理事会を開催し、ご来賓として経済産業省産業機械課 金澤 信課長補佐殿及び服部嘉博担当官殿にご臨席いただきました。

中村会長が議長となり議事が進められ、平成25年度上期の事業概要、平成25年度下期の事業、JIAM2016の取り組み、工業会事業のあり方等検討WGの検討内容、当面のスケジュール等の議案が承認されました。

最後にご臨席の金澤 信課長補佐殿から、平成26年度経済産業政策の重点及び平成26年度経済産業省関係概算要求他の説明がありました。

第34回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールについて

全国の小・中・高校生を対象とした「第34回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」は、会員各位のご協力により多くの作品が寄せられました。今後は12月に第一次及び第二次審査を行い、入選作品が決定します。

入選作品表彰式は、平成26年3月8日(土)、13時30分より日本工業倶楽部(東京都千代田区丸の内)で予定しております。



〈応募部門〉

(1) 小学生の部 (5・6年生)

作品の種類による部門はなく、小物・インテリア作品、衣服作品、リメイク・デコ作品、アニメ・ゲームキャラクターコスチューム作品全てを含みます。

(2) 中学生の部

- ①小物・インテリア作品部門
- ②衣服作品部門
- ③リメイク・デコ作品部門
- ④アニメ・ゲームキャラクターコスチューム作品部門

(3) 高校生の部

- ①小物・インテリア作品部門
- ②衣服作品部門
- ③リメイク・デコ作品部門
- ④アニメ・ゲームキャラクターコスチューム作品部門

編集後記

記録的な猛暑、大型台風の到来と夏が長く、秋をゆっくり楽しむ余裕もなく、冬の訪れを感じる時期となりました。

また今年は、富士山の世界文化遺産登録、東京オリンピックの招致決定(オ・モ・テ・ナ・シ)、伊勢神宮の式年遷宮や、楽天の日本一(巨人への倍返し?)など様々な喜びに沸いた印象に残る一年となりました。

これらを振り返ると、言い古された言葉ですが、年齢を重ねるとともに一年の過ぎ行く早さに驚かされます(じえじえじえ)。

改めて、計画性を持った業務執行と変化に対応できるスピード感を養っていかねばならないと思う次第です。いつ、やるか? 今でしょ!! (A.A)

JASMA 会報

Vol.10 No.3 2013年11月15日発行

一般社団法人日本縫製機械工業会
発行責任者：湯原 孝志

〒105-0003 東京都港区西新橋1-14-12
TEL. 03-3597-0470 FAX. 03-3597-0477

URL <http://www.jasma.or.jp>

Eメール info@jasma.or.jp